

Z世代と女性層をターゲットに SNS 媒体を活用！

VEC における SNS タイアップ広報の取り組みのご紹介

- ・昨今、情報媒体は多様化しており、長い間主要メディアであったテレビがネットに取って代われ、スマートフォンやパソコンなどの電子媒体の利用が主流になりつつあります。このような状況下、情報伝達ツールとしての SNS の存在感がますます高まってきていることから、塩ビ工業・環境協会(VEC)では、近年、広報活動における SNS 媒体の活用に積極的に取り組んできました。
- ・広く世間一般に、塩ビに関する正しい知識を啓発することを目的として、2023 年度に試みとして始めた SNS 媒体の活用は、2024 年度に本格的に展開し、Z世代と女性層を主なターゲットに着実に成果を上げています(なお、2025 年度からは、塩化ビニル環境対策協議会(JPEC)の取り組みとしても展開中です)。
- ・VEC の SNS タイアップ広報は、訴求点を可能な限り絞り込み、誰でも気軽に読むことができるマンガと説明文で記事を構成し、塩ビに興味を持ってもらえるものにしています。
- ・効果としては、VEC の SNS 記事の読者数は、2023 年度が約 10 万人、2024 年度が約 59 万人と当初の想定を大きく上回っています。また、読了率*1 も 60%前後で推移しており、記事に興味を持たれた多くの方々に最後まで読んでいただいているといえます。本年度も 6 月 26 日に新たに記事を掲載し、読者数は 2 週間で約 45 万人と順調に伸びています。

*1 読了率: 読者がアクセスした記事を最後まで読んだ率

塩ビ工業・環境協会(VEC)は、広く世間に塩ビに対する「正しい理解」を得ることを目的に、2 年前に SNS タイアップ広報を始めました。今年は 6 月 26 日、第 5 弾を掲載しました。タイトルは、～授業で聞いた単語が忘れられず... 男の子が辞書で調べた言葉、実は?～です(公開 2 週間で約 45 万人に読まれています!)。

ご存じのように SNS は Facebook や LINE、X、Instagram、YouTube などのネット系メディアをはじめ、家族や友人、社内外などを含め広く社会のコミュニケーションにはなくてはならない存在になりつつあります。そこで、総務省の HP で直近のメディア別の利用率の推移を調べてみました。

https://www.soumu.go.jp/main_content/001017241.pdf



SNS 媒体(<https://grapee.jp/1952557>) のアイキャッチ画面

図1に直近10年間のメディア別の利用時間を示しました。メディア全体の利用時間はコロナ禍を境に大きく増加（5→6時間）し、これにタイミングを合わせるように、長年、主要メディアだったテレビがネットに取って代られました。この10年間でネットの利用時間は倍増しており、情報ツールとしての重要性がきわめて高くなっています。

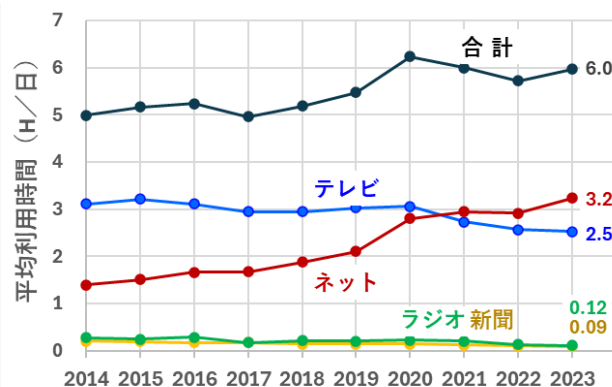


図1 メディア利用時間の推移（全世代平均）

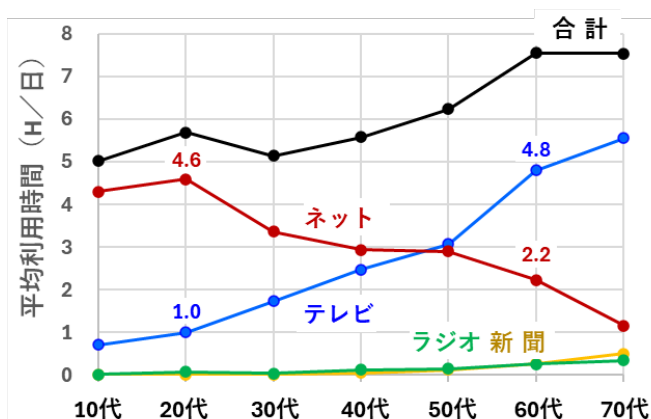


図2 世代別のメディア利用時間

また、最近の若者は部屋にテレビを置かず、見たい情報を見たい時にスマホで見える人が増えているといいます。総務省の報告書から、年代別のメディア利用時間(2023年)を整理すると図2になります。10～30代の若者はネット利用が主流になっており、SNSはZ世代～若年層への広報ツールとして、ますます存在感を高めていると言えます。

VECの広報活動において、上記のような情報媒体の変化にどのように対応するかが長年の課題でした。そこで2023年、試みとしてSNSを媒体として塩ビに関する記事を掲載する広報活動に挑戦し、想定以上に良好な結果を得ることができました。

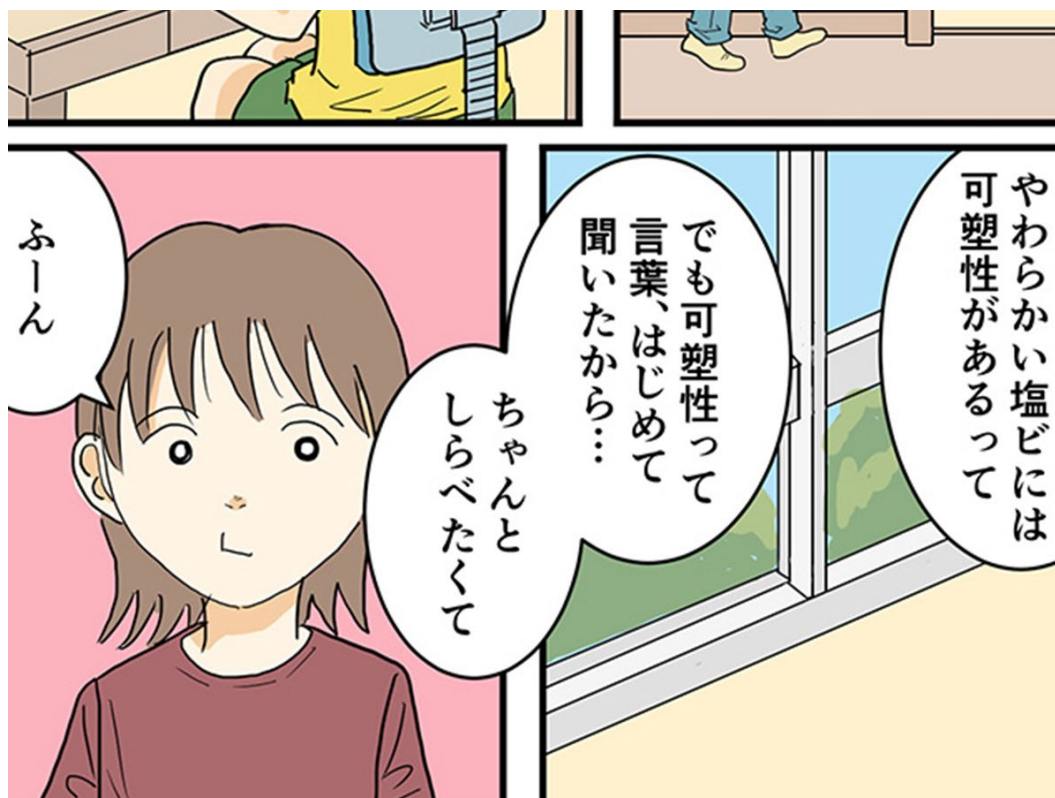
今回のSNS広報のテーマは『塩ビと可塑剤』です。もともと塩ビは無色透明の硬いプラスチックですが、同じ塩ビ樹脂から作られた製品でも、パイプや窓サッシのように硬いものがある一方で、手袋や食品ラップ、電源コードに使われる電線被覆材や塩ビレザー、壁紙のように軟らかいものもあります。また、軟らかさも製品により様々です。今回の記事では塩ビ製品の硬さ(柔らかさ)の違いを切り口に、塩ビの大きな特徴＝可塑性、および、塩ビと可塑剤の関係を解説します。

是非、次のURL(<https://grapee.jp/1952557>)からご確認ください。

以上

授業で聞いた単語が忘れられず… 男の子が辞書で調べた言葉、実は？

提供：塩化ビニル環境対策協議会



幼い子供の好奇心には、目を見張るものがあります。
分からない言葉があれば、すぐに親や先生に聞いたり、自分で調べたりするでしょう。
時には、大人ですらも首をかしげてしまうような言葉について、「もっと知りたい」と思うことがあるかもしれません。

男の子が辞書で調べた三文字、実は…

漫画家の羊の目。さんは、ある一家の何気ない日常のひとコマを描きました。
1人の男の子が、学校から帰ってきた時のことです。
授業で聞いた、ある三文字が強く印象に残ったのか、机の上で辞書を開いて…。

授業で得た知識をもとに、男の子がさらに深く知りたくなったのは、『可塑性(かそせい)』という言葉の意味でした。なんでも、教師いわく「食品ラップなどの軟らかい『塩ビ製品』には『可塑性』がある」とのこと。

『塩ビ』『可塑性』という言葉にまったくピンときていない姉も、弟に影響されて、次第に興味を持ち始めます…。

姉がきょとんとした『塩ビ』とは？

『塩ビ』とは、『ポリ塩化ビニル』または『塩化ビニル樹脂』と呼ばれるプラスチックの一種。もともと無色透明の硬いプラスチックである『塩ビ』は、実は身近な製品に多く使われているそうです。

『塩ビ』を使った製品の中には、パイプや窓サッシなどの硬いものがある一方で、電源コードに使われる電線被覆材や消しゴム、塩ビレザー、壁紙などの軟らかい製品もあります。これには、いわゆる『可塑性』と呼ばれる性質が関係しているのです。



『塩ビ』は熱を加えると『可塑性』が発現し、軟らかくなっていろいろな製品に加工できるようになります。これが熱可塑性と呼ばれるものです。一方、『可塑剤』という液体を混合することで、成形後の『塩ビ製品』は室温でも『可塑性』を発現するようになり、軟らかくなります。

『可塑剤』を『塩ビ』に使うと…

『可塑剤』とは、主に塩ビを中心としたプラスチックを軟らかくするために加える液体のこと。『塩ビ』に加える『可塑剤』の量を変えて、好みの硬さに調整でき、手袋やラップフィルムなど、非常に軟らかい製品も生み出せます。

ほかのプラスチック素材と比べて、『可塑剤』との相性がよく、柔軟性に富んだ加工製品を作れるようになるのが、『塩ビ』の持つ大きな特長です。



『塩ビ』に『可塑剤』を混合して作られる製品の1つが、軟質の塩ビシート。

活躍する先は多岐にわたりますが、例えば、工事現場で使われる防音シートが挙げられます。日常生活でよく耳にする工事現場の作業音が、間接的に『可塑剤』のおかげで緩和されていると知れば、より身近に感じられそうですね。

暮らしのあらゆるシーンで活躍する『可塑剤』はまさに、『魔法の液体』といっても過言ではないでしょう。

私たちの生活の中にあふれている『塩ビ』を使った製品。その理由は『可塑性』によって、さまざまな形に姿を変えられるからでした。

今後、『塩ビ』を使った製品を目にしたら『可塑剤』がどのくらい使われているんだろう…」と気になってしまうかもしれませんね！



[『塩ビ』について詳しく知りたい！](#)

[『可塑剤』について詳しく知りたい！](#)

